

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第 25 回幹事会議事要旨

- 1 日時：令和 5 年 12 月 11 日（月）9 時 00 分～9 時 45 分
- 2 場所：オンライン（Web 会議システム Zoom）
- 3 出席者：寶（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、岡島、石濱
オブザーバー：林（東京海上日動）
陪席者：松室（防災科学技術研究所）、松本（〃）、倉谷（〃）、菊池（〃）、
大貫（筑波大学）、増田（〃）、酒井（〃）、根本（〃）

4 議事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

(1) 令和 5 年度年間活動計画について

遠藤副会長から、資料 1 に基づき今後の活動計画について説明があり、承認された。

- 2024 年 3 月 4 日（月）12:30～13:00 第 26 回幹事会（筑波大学東京キャンパス会議室）
14:00～17:00 巨大災害研究会との合同シンポジウム（同上）
- 2024 年 3 月 6 日（水）13:00～15:30 第 16 回運営委員会・見学会（NEC 玉川事業場）
- R2EC 就職説明会：日程の都合上から次年度に延期

(2) 令和 6 年度年間活動計画（案）について

遠藤副会長から、資料 2 に基づき次年度の活動計画について説明があり、承認された。

- 主な活動：R2EC 就職説明会（仮称）、シンポジウム 2 回（単独 1 回、共同 1 回）
- 会議：総会 1 回、運営委員会 2 回、幹事会 4 回

（総会・運営委員会は見学会を兼ねて参画機関で実施）

また、林氏から見学会について次の情報共有があった。

- 東京海上日動においては事業紹介であれば対応可能と思われる（要調整）

(3) 巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム開催案について

遠藤副会長から、資料 3-1～3-2 に基づき開催案の説明があり、R2EC 側の講演者について次の提案があり、併せて種々意見交換が行われた。

- 甘利副会長：「リスクの構造化」に関する話題であれば提供可能。
- 林氏：東京海上日動 DX 推進部の川谷部長（東京海上レジリエンス株式会社役員）に依頼することを提案。

(4) JST 共創の場形成支援プログラム本格型申請完了について

遠藤副会長から次の報告があった。

- 11 月 15 日（水）：本格型昇格審査 提案書一式を提出
- 1 月 7 日（日）または 8 日（月祝）：面接審査（詳細未定）
- 1 月下旬以降：審査結果通知

(5) 大日本印刷株式会社の退会について

遠藤副会長から、運営委員会のメール審議により 12 月 15 日付けの退会が承認された旨報告があった。

(6) その他

特になし

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

(1) R2EC リサーチ&キャリアラボ（仮称）開催案について

岡島委員および事務局から資料 4-1 に基づき開催案の説明があり、意見交換の結果、開催日を再検討することとなった。

(主な意見)

参画機関の参加について

- ・岡島委員：大学院のオープンキャンパス（4/21）にあわせると日曜開催となるが、参画機関の方々に参加いただくことは可能か。
- ・石濱委員：「つくば科学技術週間」と重なるため、つくば市内の参画機関の一般公開等と重ならないかも併せて確認いただきたい。
- ・實会長：防災科研は 4/20（土）に一般公開を行う予定。日曜開催自体は問題ない。
- ・甘利副会長：セコムは本部の人事担当者と相談する必要があるが、おそらく日曜開催は問題ない。
- ・林氏：東京海上日動の参加可否については川谷部長に相談いただいた方が確実。

学生の参加について

- ・石濱委員：オープンキャンパスと同時開催だと、主に進学しようとするプログラムの説明会に参加する学生が多く、参画機関の方々の説明会に参加してくれる学生数が読めない。
目的を明らかにしたうえで比較的授業の少ない平日に設定し広報することで、多くの学生の参加が見込めるのではないか。
- ・岡島委員：いつ頃の開催が望ましいか、学内で引き続き検討する。

(2) 大学院教育改革フォーラム 2023 開催報告

岡島委員から、資料 5-1～5-2 に基づき、次の報告があった。

- 筑波大学主催の大学院教育改革フォーラム（12/1・2 開催）において協働大学院を紹介
- 学内外の産学連携プログラムと意見交換を行い、有益な意見を得た

(4) その他

特になし

以上